

多治見市子どもの未来応援調査の結果をお知らせします

☎ 子ども支援課 原 TEL 23-5958

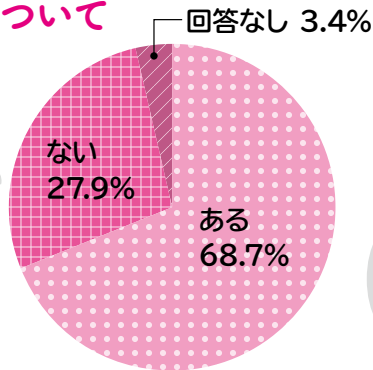
本調査は、市内に住む子どもを取り巻く社会が、日々の生活などにどのように影響しているかを明らかにし、子どもの夢や希望をかなえることができる明るい未来づくりにつながる対策を検討することを目的として実施しました。

【調査の概要】

- 調査対象** 市内公立小1の保護者、小5・中2の保護者と子ども
- 調査方法** 学校を通じて配布、回収
- 調査時期** 平成29年9月

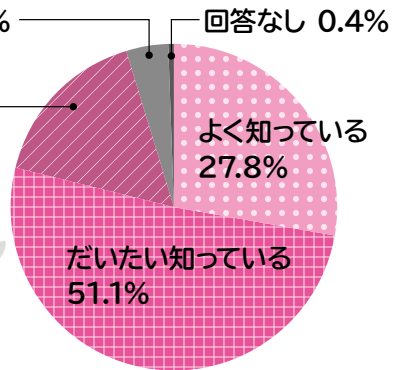
▶ 将来の夢について

子どもの約7割は、将来の夢を持っている



知らない 4.3% 回答なし 0.4%

保護者の約8割は子どもの将来の夢を知っている



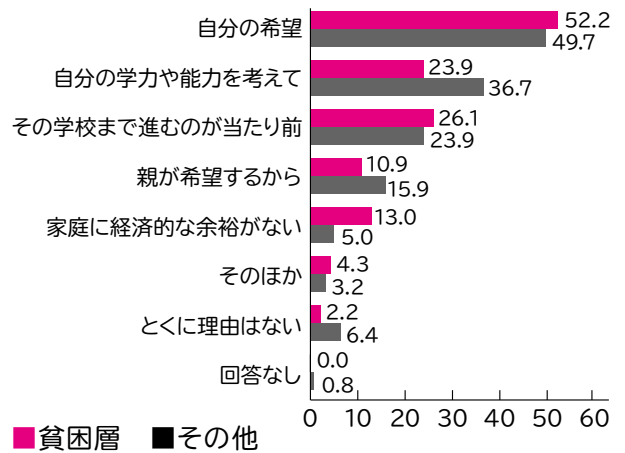
子どもの貧困率

多治見市の「子どもの貧困率」は、**5.9%**

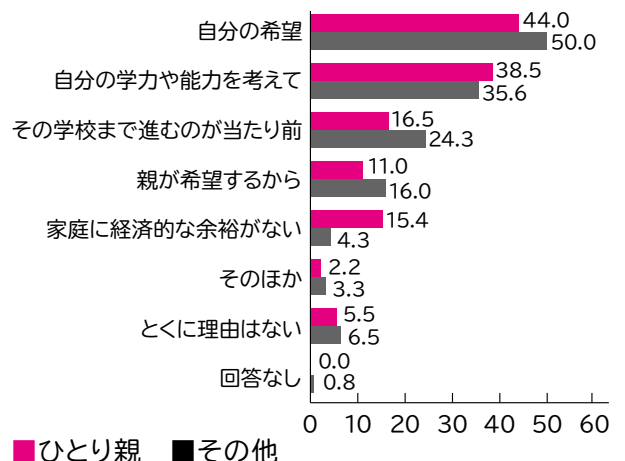
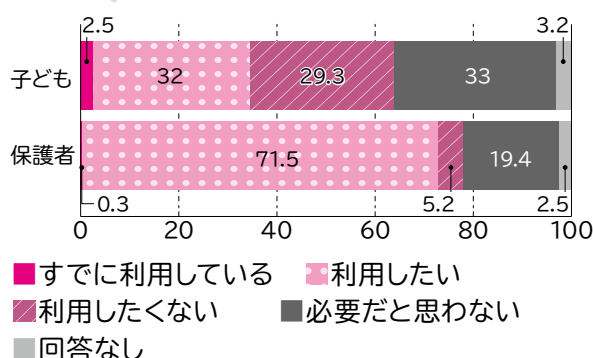
世帯1人当たりの収入額が平成27年度の国民生活基礎調査における中央値の2分の1である122万円(貧困線)を下回る世帯を貧困層と定義しています。

▶ 学習

経済的な理由で進学先を選択する子どもが多い

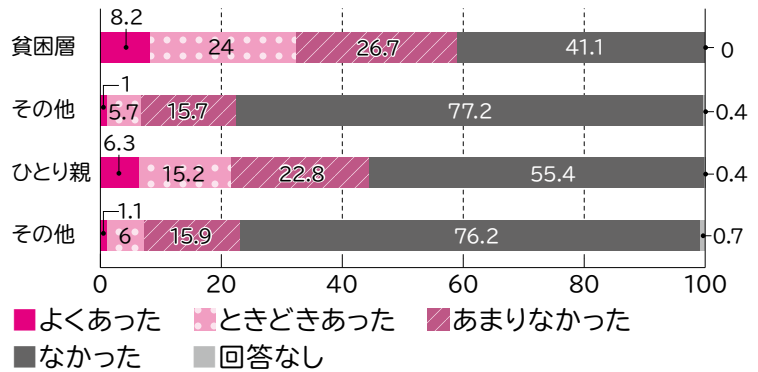


学習支援は、保護者の利用意向が高い

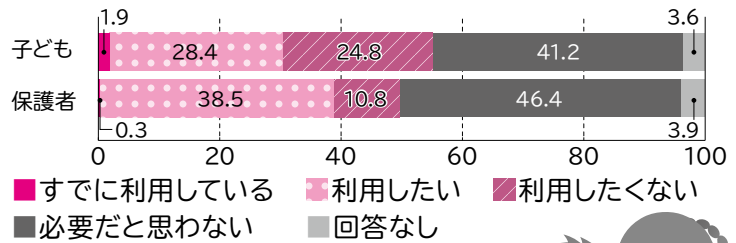


▶ 生活

経済的な理由で食料品を買えなかった経験がある保護者もいる



子ども食堂は、子どもの約3割、保護者の約4割が利用したい



進学先の選択の理由について貧困層やひとり親世帯では「経済的な余裕がない」という割合が高くなっています。

経済的な理由で「食料品を買えなかった」割合は貧困層で32.2%ひとり親世帯で21.5%と高くなっています。



1

学習支援

ひとり親世帯の中学生で高校進学を希望する生徒を対象に、学習を支援する場をつくります。

2

子どもの居場所づくり補助金の創設

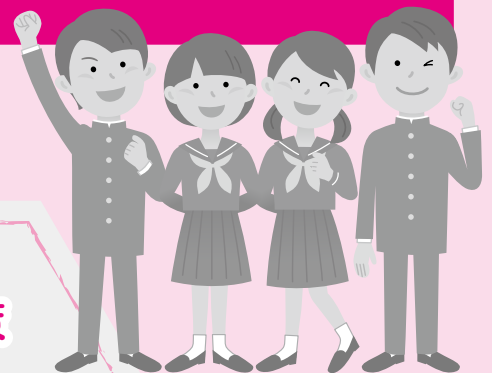
食事の提供を通じた子どもの居場所づくりを行う団体を応援します。

3

子育て施策のPR

調査の結果、認知度が低い施策を中心に、既に取り組んでいる事業や新しい事業について、パンフレットなどによるPRを充実します。

この結果を受けて
平成30年度は
3つの事業をスタート



詳細は、市のホームページや本庁舎1階市政資料コーナーをご覧ください。

